

4 財産に関する調書

公有財産、物品、債権及び基金の状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

		(単位 m ²)		
区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土 地		29,954,287.61	13,120.15	29,967,407.76
建 物 (延面積)	木 造	38,238.64	△105.01	38,133.63
	非木造	2,216,267.73	3,474.32	2,219,742.05
	計	2,254,506.37	3,369.31	2,257,875.68

(注) 土地の面積には、山林が含まれている。

(ア) 土地の総面積は、決算年度末現在 29,967,407 m²で、前年度末に比べ 13,120 m²増加していた。

増加した主なものは、(仮称)新沼上最終処分場用地 19,645 m²、日本平公園用地 5,361 m²である。

減少した主なものは、庵原町法面^{のり} 14,358 m²、渋川東公園用地 1,402 m²である。

(イ) 建物の延面積は、決算年度末現在 2,257,875 m²で、前年度末に比べ 3,369 m²増加していた。

増加した主なものは、静岡市歴史博物館 5,000 m²、両河内小中学校小学校校舎 1,270 m²である。

減少した主なものは、船越生涯学習交流館 1,285 m²、宮加三団地 1 号棟 759 m²である。

イ 山林

(単位 面積 m^2 ・蓄積量 m^3)

土地の権利 の区分	土地面積	立木の推定蓄積量		
	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
直営	16,839,556.53	301,110.00	1,457.00	302,567.00
分収	3,855,618.19	51,502.00	△377.00	51,125.00
貸付	31,163.15	—	—	—
計	20,726,337.87	352,612.00	1,080.00	353,692.00

(ア) 山林の総面積は、決算年度末現在 20,726,337 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

(イ) 立木の推定蓄積量は、決算年度末現在 353,692 m^3 で、前年度末に比べ 1,080 m^3 増加していた。

ウ 動産

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
浮き栈橋	7 個	4 個	11 個
航空機	1 機	—	1 機

(ア) 浮き栈橋は、前年度末に比べ、葵舟乗船場（北御門）など4個増加していた。

(イ) 航空機は、葵区諏訪の静岡ヘリポートに配備してあるもので、決算年度中の増減はなかった。

エ 物権

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
温泉権	23 件	—	23 件
地上権	5,120.71 m^2	—	5,120.71 m^2
地役権	37,003.10 m^2	—	37,003.10 m^2

(ア) 温泉権は、決算年度末現在、梅ヶ島温泉など11か所23件で、決算年度中の増減はなかった。

(イ) 地上権は、決算年度末現在、麻機児童館事業用地など9か所5,120 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

(ウ) 地役権は、決算年度末現在、林道有度沢線など27路線等37,003 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

オ 無体財産権

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
著 作 権	—	2 件	2 件
商 標 権	—	12 件	12 件

(ア) 著作権は、本年度に、まるちゃんの静岡音頭など 2 件を財産登録したものである。

(イ) 商標権は、本年度に、レッパーくんなど 12 件を財産登録したものである。

カ 有価証券

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
株 券	202,427	—	202,427

(ア) 株券は、決算年度末現在、清水埠頭株式会社など 17 銘柄 2 億 242 万円で、決算年度中の増減はなかった。

キ 出資による権利

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
出資金・出捐金	13,924,960	1,217,070	15,142,030

(ア) 外郭団体等に対する出資金・出捐金は、決算年度末現在 151 億 4,203 万円で、前年度末に比べ 12 億 1,707 万円増加していた。

ク 財産の信託の受益権

該当なし

(2) 物品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
車 両	561 台	△13 台	548 台
庁 用 器 具	168 点	17 点	185 点
織 維 皮 革 製 品	17 点	—	17 点
事 務 用 品	60 点	5 点	65 点
計 量 器	120 点	△2 点	118 点
光学通信音響機器	483 点	△6 点	477 点
医 療 機 器	349 点	△10 点	339 点
厨 房 調 理 機 器	513 点	△3 点	510 点
機 械 器 具	626 点	△38 点	588 点
登 録 外 車 両	40 台	△1 台	39 台
音 楽 用 品	220 点	△1 点	219 点
運 動 用 具	190 点	△2 点	188 点
図 書 ・ 美 術 品	1,001 点	20 点	1,021 点
雑 品 類	235 点	△1 点	234 点
動 物	22 点	△1 点	21 点
共 用 物 品	11 点	—	11 点
計	4,616 品	△36 品	4,580 品

ア 物品は、決算年度末現在 4,580 品で、前年度末に比べて 36 品減少していた。

(3) 債権

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
奨学金貸付金	305,741	22,367	328,108
母子・父子・寡婦 福祉資金貸付金	3,082,028	△57,427	3,024,600
保留床取得資金貸付金	561,356	△166,448	394,908
地域総合整備資金貸付金	1,043,100	△231,800	811,300
介護保険法第22条第3項 の規定による返還金	159,014	△5,442	153,571
介護保険法第22条第3項 の規定による加算金	73,556	△3,205	70,350
新幹線通学費貸付金	164,478	22,714	187,193
静岡病院独法移行前 地方債償還債務負担金	5,012,126	△275,095	4,737,030
静岡病院事業貸付金 (地方独立行政法人移行後分)	900,000	—	900,000
災害援助資金貸付金	0	16,444	16,444
計	11,301,401	△677,892	10,623,508

(注) 貸付金債権の決算年度末現在額は、各貸付金の残高から決算年度末における収入未済額を除いたものであり、次年度以降に償還期限が到来する債権の額である。

ア 債権は、決算年度末現在 106 億 2,350 万円で、前年度末に比べ 6 億 7,789 万円減少していた。

(4) 基金

		(単位 千円)		
区 分		前年度末 現 在 額	決算年度中 増 減 額	決算年度末 現 在 額
主 な も の	財 政 調 整 基 金	10,311,677	△1,269,827	9,041,850
	市 債 管 理 基 金	44,000,763	4,370,572	48,371,335
	土 地 開 発 基 金	1,900,000	—	1,900,000
	電 気 事 業 経 営 記 念 基 金	3,620,019	229,115	3,849,134
	静 岡 競 輪 場 施 設 改 善 基 金	2,394,755	823,074	3,217,830
	職 員 退 職 手 当 基 金	620,326	114	620,440
	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	3,431,943	149	3,432,092
	介 護 給 付 費 等 準 備 基 金	1,388,214	860,802	2,249,016
	健 康 福 祉 基 金	1,439,211	500,392	1,939,604
	一 般 廃 棄 物 処 理 施 設 整 備 基 金	2,142,036	481	2,142,518
	森 林 環 境 基 金	663,839	200,000	863,839
	地 域 振 興 基 金	4,000,000	—	4,000,000
	清 水 漁 業 振 興 基 金	890,408	88	890,496
	都 市 整 備 基 金	1,256,260	501,605	1,757,865
	公 共 建 築 物 整 備 基 金	5,000,000	146,300	5,146,300
	上記以外のもの (31 基金)	4,285,668	△537,268	3,748,400
計 (46 基金)	87,345,125	5,825,600	93,170,726	

ア 基金は、決算年度末現在 931 億 7,072 万円で、前年度末に比べ 58 億 2,560 万円増加していた。

基金の保有状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
現 金	83,154,452	5,825,600	88,980,053
定 額 資 金	1,920,000	—	1,920,000
有 価 証 券	2,270,673	—	2,270,673
計	87,345,125	5,825,600	93,170,726